

Fine の SDGs への取り組み



『不妊』をもっと『普通に話せることに』

【私たちのビジョン】

“不妊”が“特別”ではなく“普通に話せる”社会。

そして、さまざまな家族のかたち、幸せのかたちを認め合い、応援しあえる社会の実現。

【私たちのミッション】

不妊治療を受けること、自然に授かる日を待つこと、夫婦二人の道を選ぶこと、養子や里子を迎えること。それら不妊に関わるすべてのことを「ごくありふれた普通のこと」にすることで、現在・過去・未来の不妊体験者が孤立せず、前向きに輝き、いきいきと過ごせる環境を作る。

【私たちの活動の目的】


◆不妊治療患者が正しい情報に基づき、自分で納得して選択した治療を安心して

て受けられる環境を整えること。

◆不妊体験者が社会から孤立することなく、健全な精神を持ち続けられる環境を整えること。

【Fine の SDG s への取り組み】

1) 不妊治療当事者の支援

精神的サポート	<p><u>不妊ピア・カウンセラー養成講座</u>では、当事者が当事者の心のケアをする重要性に着目し、不妊ピア・カウンセラーを自ら養成しています。</p> <p>不妊ピア・カウンセラーおよび臨床心理士による<u>面接カウンセリング、電話相談、グループカウンセリング</u>で、不妊にまつわるさまざまな気持ちに寄り添っています。</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>
仲間づくり	<p>ひとりぼっちと感じてしまいがちな不妊当事者に向けて、<u>FineSNS の運営、おしゃべり会や懇親会</u>を開催。当事者同士の交流の場を提供します。</p>	


リンク先：(上から順に)


<https://j-fine.jp/e-pia/>

<https://j-fine.jp/activity/counseling/index.html>

<https://j-fine.jp/activity/event/index.html>

2) 妊活や不妊（治療）に関わる啓発活動


自治体、学会、クリニックなどで <u>講演、講義、体験談発表</u> を行っています。	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>
不妊当事者の実態や意識・意見を収集する <u>アンケート調査</u> を実施しています。	
「不妊予防」および「妊娠に関わる身体や心のケア」を一元化した事業「 <u>Fine 妊活プロジェクト</u> 」を推進。企業の管理職や従業員向けに妊活や不妊に関することを正しく知ってもらうための啓発セミナーを実施しています。	
Fine は毎年、不妊治療に関わるアンケート調査を実施しています。2018 年実施の「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート	

Part II」の結果をもとに当事者の生の声を集計・分類し、 <u>不妊白書 2018</u> を発行しました。	
Web サイト、メールマガジン、 <u>ブログ</u> 、プレスリリースなどによる <u>情報発信</u> を積極的に行ない、多数のメディアからの取材にも対応。コミュニティ放送局「 <u>渋谷のラジオ</u> 」で月 1 回、番組を担当し、幅広い層に啓発をしています。	

リンク先：(上から順に)

- <https://j-fine.jp/activity/article/>
- <https://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>
- <https://j-fine.jp/miraiaction/index.html>
- <https://j-fine.jp/activity/hakusyo/index.html>
- <https://ameblo.jp/npofine/>
- <https://j-fine.jp/activity/press/index.html>
- <https://j-fine.jp/activity/media/shibuyaradio.php>


3) 患者と医療機関の橋渡し

<u>不妊スペシャリストへの相談デー</u> を開催し、不妊症看護認定看護師さんと認定臨床エンブリオロジスト ^(※1) (胚培養士)さんに個別相談できる機会を提供しています。	
<u>JISART 施設認定審査</u> の患者支援団体代表審査員として参加し、当該施設に通院する患者の声を審査に反映させています。	

リンク先：(上から順に)

- <https://j-fine.jp/activity/event/specialist.html>
- <https://jisart.jp/about/rule-review/review/>

4) 国政への働きかけによる当事者の環境改善と向上

2007 年より不妊患者の経済的負担軽減等のための <u>署名活動</u> を行っています。	
厚生労働省などに 9 つの <u>要望書</u> を提出し、6 つ(新薬許可、自己	

注射など) が実現しました。



リンク先：(上から順に)

<https://j-fine.jp/activity/act/message.html>

<https://j-fine.jp/activity/act/index.html>

(※1)不妊治療施設で医師が採取した卵子収集と培養業務を担うスペシャリスト。